

みちしるべ

第142号

人権・同和問題啓発広報
人権同和政策課
☎ 22-7506
同和教育・啓発推進会議

出雲市同和教育研究指定事業の取組

市では、市内で地区同和教育推進協議会を指定し、当該地区内の幼稚園、小・中学校、保育園(所)、コミュニティセンター等と連携を図りながら、「真に明るく住みよい民主的な社会の創造」をめざした地域ぐるみの同和教育を推進しています。

平成28・29年度に指定した地区の取組を紹介します。

○出西地区

〔活動テーマ〕
やさえあう やさしい笑顔のまちづくり
〜明るく住みよい出西をめざして〜

出西地区では、出西地区人権・同和教育推進協議会を中心に推進組織を立ち上げ、4つの専門部会を設置して、自治会や小中学校、幼稚園、保育園のほか各種団体との連携を図りながら活動を行っています。

活動に先立ち、20歳以上の住民の方を対象に住民意識調査を実施しました。調査結果では、同和問題の解決について、「基本的な人権に関する問題だから、解決に努力すべきである」と回答した人が4割いた一方で、「成り行きにまかせる」「考えたことがない」など消極的な意見が4割を超えました。また、大安や友引などの六曜を容

認する意見が約半数あり、風習や慣習に従う人が多いことがわかりました。

各自治会や事業団体で実施したビデオフォーラムや講演会には、延べ千人を超える参加があり、住民同士の交流を深め、人権意識の重要性を学びました。1年目には岡山市人権啓発センター及びひばり一揆資料館、2年目には松江市福原会館への視察研修を行いました。また、広報誌「えがお」を発行し、出西コミュニティセンターだよりにも協議会のコーナーを設けて、広く住民の方への啓発を行いました。

地区住民の方や地区内の保育園・幼稚園、小中学校から人権標語やポスターを



人権標語・ポスター表彰式



団体研修(寿昌クラブ)



自治会研修(神立4)

募集し、4000点の応募がありました。出西地区文化祭オープニングで人権標語・ポスター表彰式を行い、矢野会長から最優秀賞の6人に表彰状を授与しました。

2年目に第2回の住民意識調査を実施して、1年目の活動の成果や問題点を分析しました。研修の参加経験者が増加し、大安、友引などの六曜を容認する意見が減少するなどの成果が見られました。調査項目の中に、「出西は住みよい地域かどうか」について聞いたところ、2回の調査いずれも、一定の評価をしている人が8割以上でしたが、満足していない人も1割弱あり、今後の課題となりました。



研究発表会

昨年11月の研究発表会では、斐川西中学校及び西野小学校の公開授業、西野幼稚園の公開保育、そして出西保育園、あい川保育園、わらべのうち保育園の映像報告、また2年間の取組の発表を行い、その後、杉原周太さんを講師に迎えての講演会(演題

「だれもが住みよい町」迷信差別と人権)を行い、参加者にとって貴重な学習の場となりました。

出西地区人権 同和教育推進協議会 矢野素夫会長から

出西地区は、「やさえあう やさしい笑顔の まちづくり」明るく住みよい出西をめざして」を活動テーマとして、関係団体、小中学校・幼稚園・保育園、コミュニティセンター等と連携しながら事業に取り組みました。

事前の住民意識調査では、人権・同和問題に消極的な意見や、風習や慣習にとらわれた人が多く、さらに人権意識を高めていく必要があることがわかりました。

主な取組として、地域の自治会や事業団体でのビデオフォーラムを中心とした研修のほか、講演会、視察研修、広報誌による啓発活動等に努めた結果、多くの参加があり、成果をあげました。これからも差別や偏見を無くすための実践へ結びつくように、地道な啓発活動を続ける必要があると考えております。

私たちの最終目的は、活動テーマの通り「住みよい地域づくり」であります。今回の活動の成果と課題を踏まえて、住民の皆さんと共に、引き続き取組を進めてまいりたいと思います。

○西田地区

〔活動テーマ〕

ふれあい・笑顔豊かな 和の西田
人権が尊重される住み続けたい地域づくりをめざして

西田地区では、地域の諸団体と連携し、差別のない住みよい地域づくりをめざして啓発活動を実践しました。当地区は、中心部に、小学校、保育所、コミュニティセンター、福祉施設、JA等が集中し、小学校と福祉施設との年間を通しての交流や、福祉施設にある「地域交流スペース」を使つての地区行事の開催など、非常に連携がとりやすい環境にあることから、地区内の事業所の皆さんにも参加していただきました。

1年目に実施した意識調査では、平成15年に実施したアンケートの質問項目を取り入れ、今回の結果と比較することにより、意識の変化を把握しました。また、地域研修会は、地区の30町内を7会場に集約して開催し、事業所を対象にした研修は、万田の郷とわにぶち保育所の2か所で開催しました。わにぶち保育所の研修には、小学校、保育所、コミセン、JA西田支店、グループホーム「楽舎」の職員の皆さんに参加していただき、研修を通じて交流ができました。また、西田小学校児童、PTAの皆さんに一人ひとりの人権標語を作ってもらった啓発ポスターと共に、小学校やコミセンに掲示しました。視察研修会は、1年目に松江市の福原会館、2年目に福山市人権平和資料館とホロコースト記念館を訪れました。また、坂田かおりさんの講演会を「し

あわせに生きるために」と題して開催しました。

昨年12月の発表会では、西田小学校の公開授業、わにぶち保育所の公開保育、また、2年間の取組について発表を行い、その後、中山まさともさんを講師に迎えての講演会（演題「みんなでなくそう！差別といじめ」）を行い、参加者にとって貴重な学習の場となりました。



視察研修会（福山市）



地域研修会



研究発表会



活動テーマ・人権標語・ポスター

西田地区人権・

同和教育推進協議会

大樋二男会長から

西田地区では、「ふれあい・笑顔豊かな 和の西田」をメインテーマとし、差別のない住みよい地域づくりをめざして、啓発活動を実践してまいりました。

事業の実施にあたっては、地区諸団体、西田小学校、わにぶち保育所、コミュニティセンターをはじめ、2か所の福祉施設やJA西田支店の職員の皆さんにも働きかけ、地区を挙げて活動に取り組みしました。

地区住民を対象にした地域研修会、事業所の皆さんに参加していただいた事業所研修会のビデオフォーラムでは、「思い込み」に気づき、「思いやり」が大切であることなどについて活発な意見交換ができました。また、地域に向き、直接皆さんとふれあい、生の声を聴き、参加者の意識を感じることができたことは、自分にとっては学びの研修会でありました。

研修会の参加者アンケートでは、もっと学びたいとの意見も多数ある一方、学びたいことは特にないとのお考えも多いことから、これからの研修の在り方について、工夫が必要であるように感じました。また、事業所研修会では、地域の各職場で働く職員が一堂に会し、研修を通してさまざまな意見交換や交流ができたことに高い評価を受けました。

今後とも、住みよい地域づくりをめざし、同推協の取組のほか、地域の関係団体を中心となり、分野別の課題について学ぶ機会を増やすことで、人権意識を高め、「明るく住みよい地域づくり」のための継続した取組を行っていきたいと思っています。

平成29・30年度の研究指定を受けている檜山地区及び乙立地区では、現在さまざまな取組が行われています。

指定2年目となる今年度、これらの取組の成果などの発表会が次の予定で開催されます。

- 檜山地区人権・同和教育推進協議会
とき 10月27日(土) 主会場 檜山小学校
- 乙立地区同和教育推進協議会
とき 12月 1日(土) 主会場 乙立小学校

同和教育は、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、すべての人々の人権を尊重する取組です。今回紹介した研究指定を受けた地区だけでなく、研究指定を受けていない地区でも、さまざまな取組が行われています。皆さんも積極的に参加しましょう。